

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.60

■2013年度予算

一般会計約648億、国民健康保険、介護保険、下水道等5つの特別会計との合計は1,015億となった。

市税収入はここ数年横ばいで338億。借金(市債)は、一般と特会合計50億で昨年より20億減。臨時財政対策債といった赤字借金ができなくなった(国の制度)ため資金繰りが厳しく、基金(貯金)の取り崩しが35億と昨年の倍以上となった。

・「防災公園整備事業」

事業費は220億+その他事業費23億。今年度は公園部分残地買収と実際の建設工事に着手の予定。

市債発行は今年度23億だが、2014、15年度は35億前後の借金を2年間重ね、総計147億となる。

将来見通しのグラフでは、相変わらず井口ランドなどの売却を67億と見込み市債をマイナスして提示。売却年度は2017年度と後ろ倒しにした。

・保育園定員の見直し

2つの保育園で、0歳児クラスを廃止し1、2歳児の定数増とした。南浦西保育園の建替えでも元々なかったとして0歳児クラスは未設置。1、2歳児の定数は増えたが0歳児定数は減少。待機児対策として市民ニーズにかなうか疑問。



・学童保育所の建て替え

仮設から新築の三小、校内と分室を統合し近隣に親切の高山、校内から隣接地に新築の井口、複合施設となる五小各学童の整備が進む事は評価したい。

・ふじみ新ごみ焼却場稼働と環境センター閉鎖

平常的な環境センターの運営費とふじみの運営負担金を比較すると3億の負担減。一方でごみ処理受託費などで収入も3億ほどの減。一方、環境センター閉鎖に循環型社会形成推進交付金を活用するため、今後ごみ処理関係施設として活用する模様。

・三鷹台駅周辺まちづくり推進地区整備方針策定

・三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業。

三鷹市が地権者として再開発組合に参加。都市計画への合意形成推進を図る。

■3月議会一般質問

未来に希望を持てるまちづくりについて



1) 若者支援について。

今、多くの若者が社会生活上の困難を抱えている。どのように行政がアプローチし、若者支援を展開できるか、就労、社会的養護、住宅、居場所等の様々な面から、現状と課題、今後の方向性などについて質問。

→答弁；ハローワークやみたか若者サポートステーション等との連携。児童館での若者の社会参加支援のプログラムなどを実施。居場所作りや住宅支援等は今後の検討課題。



今、特に30代前後の若者の社会参加支援にきちっと取り組まなければ、社会の担い手がいなくなる。将来を見据え10代、20代からの支援に今から取り組む必要がある。切迫感が感じられないのが残念。



2) 高齢者の住宅支援

経済的困難を抱え、同時に介護も必要な高齢者の行き場がない。団塊の世代が後期高齢者になる前に対応策の検討が必要。

→答弁；都型ケアハウスが6月に開所予定。在宅ケアの医療連携の研究や、地域包括ケアの取り組みを進めている。施設建設は費用負担がかさむ。負担とニーズのバランスで検討。



公団住宅八民間賃貸住宅の空き室利用でシェアハウスを提案したつもりだが、施設建設要望としての答弁。

新たな枠組みを模索すべきだが、現状の介護保険内での発想に留まる答弁だった。



・学校給食業務委託

13年度から二中、14年度から北野小、六中。業者委託校は小8校、中4校で過半数を超える。

2013年度一般会計予算、国民健康保険・介護保険事業・後期高齢者医療各特別会計に反対。介護保険サービス・下水道各特別会計に賛成。

■総務委員会

・一般会計補正予算(6号)

○震災復興特別交付税8.9億。ふじみ負担金を同額支出。災害がれき処理可能施設建設に対して交付。調布市と合計で19億。昨年度と合計し30億。地元協議会での議題や組合議会での視察が評価。しかし、直接被災地支援ではないものへの交付は「流用」。受けるべきではない。○減収補てん債1億。国に不交付団体の財政が苦しいことを訴えているので可能な借金はする、と説明。一方で法人市民税は1.5億増、人件費1.8億減。差引3億増で、借金しなくてもやりくりが可能。赤字借金は将来負担を増やす自転車操業。○文化基金、国際交流基金を廃止し、財政調整基金へ5億。一般財源として使えるようにした。それだけやりくりは厳しくなっているということ。上記2点から補正予算(6号)には**反対**。

・市職員退職金条例の改正

退職金を約200万円減額。国の制度改正に倣うものだが、一方的な給与引き下げが続いているのは納得できない。労基法遵守のディーセントワーク確保の職場を守り、民間を近づける施策が必要。労使協定が成立するとの話なので討論して**賛成**。

■議会改革検討委員会

成果は無きに等しい状態で終了。来期は？

◆ジェネリック医薬品の問題点

生活保護受給者等に配布されるリーフレットには、ジェネリックは先行薬品と全く同じを書いてあるが、100%同じなのではない。①有効成分は同じだが、純度が低い場合が多い。②その他の成分は独自。体内での溶け方などが違い効果・効き方が違う。③安全性など試験が不十分。④医療関係者への情報提供が少ない。結果的に精神安定剤は聞き方が微妙なためジェネリックにしたら症状が悪化する場合もある。強制するようなことがあってはならない。



■外環特別委員会

・機能補償道路説明会等の報告

○国や都を巻き込み、「北野の里」構想およびジャンクション周辺の街づくりについて話し合うワークショップを今年度開催予定。今年度は準備会をまず設置する予定。

○無償貸与の土地返還を国交省から求められた。国交省内の検討会で13年度の継続使用が認められた。一方で、中央高速にいちばん近いゲートボール場の撤去工事費用を13年度予算に計上。

■請願「0～2歳待機解消について」

議運での取扱いに問題あり！

議会運営委員会にて、提出者が現在選挙費用公費負担について三鷹市を相手取り行政訴訟をおこなっていることから、本人から補足説明を受けるのはどうかという議論になった。結局、いったん棚上げとなり、最終日前の議運で改めて即決とした。本会議最終日に、自公民みの反対で不採択。

■その他の議案

・しろがね第2駐輪場の指定管理者の指定

(株)まちづくり三鷹への指定は双方代理であるとして**反対**。

◆子宮頸がんワクチン、重篤な副作用！

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会が発足。意識消失や激しい痛みなどで後遺症に苦しむ女子中学生が多くいることが判明。今のところ副作用1100人、うち重篤者100人を超えるという。連絡会はワクチンの定期接種化の中止を訴えている。

この間、国会で質疑で明らかになったのは、子宮頸がんの原因とされるHPV16型と18型に感染する日本人は1%以下ということ。子宮頸がんになった人では16型18型で60%の罹患率だが、母数が違う数字のトリック。ワクチン接種者の99%は本来感染しないはずのウィルスをわざわざ体内に取り込む危険性を冒していることになる。子宮頸がんワクチン定期接種化は中止すべき。



★ 4.20さよなら原発！三鷹アクション

その5 4/20(土) 13時井の頭西園集合。

ごいっしょに歩きましょう！

★「シェーナウの想い」上映会

6/1(土) 午後、市民協働センター
再生可能エネルギーを考えよう。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.60
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
Twitter: https://twitter.com/#!/hitujinomura